



令和3年度 秋田県総合教育センター

# 総合教育センターだより

第182号

令和3年7月12日発行

〒010-0101 湯上市天王字追分西29-76

TEL 018-873-7200 (代表)

https://www.akita-c.ed.jp

## ●C講座「授業におけるICT活用」が開講されています

当センターでは、「GIGAスクール構想」に対応した教育の実現に向け、昨年度まで行われていた「授業におけるICT活用」の講座をリニューアルしました。

今年度のICTに関するC講座では、授業のねらいを達成するために、効果的にICTを活用する基本的な方法についての理解を深めることを目標とし、「授業におけるICT活用（Chromebook編・Windowsタブレット編・iPad編）」を各2回実施します。受講者の延べ人数は、Chromebook編26名、Windowsタブレット編62名、iPad編が34名と、予定定員をはるかに超えた申込みがありました。講座は、「授業でICTを活用するメリット」



「実物投影機の操作と電子黒板の活用」「Chromebook・Windowsタブレット・iPadの活用」「オンライン授業の進め方」で構成しています。授業で効果的にICTを活用するために、受講者は授業で使用することをイメージしながら取り組んでいました。振り返り票では「実際に自分で操作しないと身に付かないことが分かった」「実現や活用のハードルは高くないことが分かった」といった感想が多くみられました。まずは、実際に操作してみることが大切です。今後授業でICTを活用する場面が更には増えると思われます。当センターのウェブサイトに掲載しているICT活用に関するページもご覧ください。



### ■新着情報(全体表示)

(2021.07.05) 研修資料のダウンロードについて  
・7月9日実施予定のC-7生徒が資質・能力を活用・発揮する中学校数学科の授業づくりの研修資料を掲載しました。[ダウンロード](#)

(2021.07.05) 「C講座追加募集終了のお知らせ」  
次のC講座の追加募集を終了いたします。

### 注目情報

B講座・C講座の実施について

**ICT活用情報提供**

あなたキャリアアップシート集計結果

### 上記講座の研修の振り返り票より

- 学校の研修会で1回教えてもらった部分もありましたが、やはり自分で実際に利用してみないと身に付かないと思いました。
- 実際に動かしてみなければ分からないことが多かった。会議等もZoomでというものが多い。今まで避けてきたが、できるかもと思った。
- 市町村でそれぞれ使用されている端末が違っていることが分かり、研修のアプローチもいろいろあることが分かった。
- いろいろな機能があり、授業でちょっと使うだけでもいつもとは違う授業になるのだと感じた。まず、使ってみる、そんな姿勢からスタートさせたい。

## ● 第1回公開講演が行われました

6月23日（水）に、B-17 生徒指導推進研修講座において、神田外語大学 嶋崎政男客員教授による公開講演「不登校への対応」が、オンラインで開催されました。不登校問題の推移や現状、不登校の要因・背景と不登校を生まない学校づくり等についての理解を深めることができる貴重な機会となりました。



### 公開講演アンケートより

- 不登校への対応として、訪問支援の大切さを感じた。また、現状への対処にとどまることなく、将来の社会的自立のための支援を考えながら対応していきたい。
- 不登校を生まない学校づくりに向けた「4つの力」について大変分かりやすく解説していただいた。「一人で全てをできる人はいない」「チーム学校」という意識を改めて大切に、職務に努めていきたい。
- 不登校においても他事例を参考にしたナレッジマネジメントを重視した循環型危機管理体制の構築ができるよう、今後も研修を進めていきたい。

## ● 第3回公開講演「自校におけるインクルーシブ教育の推進」

6月25日（金）の第2回公開講演は中止となりましたが、8月20日（金）には、特別支援教育の公開講演を予定しています。読み書きに困難を抱える児童生徒を早期に発見し、その要因・背景を探ることで、授業づくりや合理的配慮を検討する方法について理解を深めることを目的とした講演です。

### 講師紹介

#### 「インクルーシブ教育時代に押さえる授業づくりのポイント」

—読み書きに困難がある児童生徒の早期発見と理解—

講師 宮城学院女子大学 教育学部教授 梅田 真理 氏

#### 【研究活動】

特別支援教育の中でも発達障害を中心に、通常の学級や通級指導教室などでの気づきやアセスメント、指導内容や指導方法などについて研究しています。発達障害のある子どもは、通常の学級にもいます。その子どもたちに対する支援を考えることは、周囲にいる子どもたちにとっても「くらしやすく、学びやすい学級づくり、授業づくり」をすることにつながると考えています。

※宮城学院女子大学HP：梅田真理教授の紹介より

#### 【研究実績】

- ・発達障害のある子どもの指導の場・支援の実態と今後の指導の在り方に関する研究  
(国立特別支援教育総合研究所研究成果報告書)
- ・障害のある児童生徒のためのICT活用に関する総合的な研究  
(国立特別支援教育総合研究所研究成果報告書)
- ・特別支援教育における発達支援（小児科診療第80巻7号）
- ・高校における発達障害へのスティグマ改善プログラムの開発
- ・障害のある子どもの危機管理能力を育てる防災教育の在り方

#### 【社会における活動】

- ・仙台市就学支援委員
- ・宮城県就学指導審議会委員 等

現在、参加申し込み受け付け中

講演の1週間前までに  
お申し込みください

